



関東  
次世代がん専門医療人  
養成拠点

筑波大学がんプロ新企画：論文執筆支援プロジェクト

# 医療ビッグデータを 研究に活用

## リアルワールドデータから“論文を書こうぜ”

現場にある“見えない数字”を、データで検証し、論文という形で社会に発信する。

そのための導入セミナーを開催します。筑波大学附属病が保有する、8万件以上の手術データを含むリアルワールドデータを題材に「どんな研究が可能か」「どのようにデータを扱うのか」を具体的に紹介。  
“医療データの舞台裏”を覗いてみませんか？

2025 **12**月**4**日  
18:00～19:30

会場：筑波大学附属病院 **紫峰ホールB棟11階**

対象：医学系大学院生・がんプロコース生・教員

参加登録はこちらより [〆切 12月4日、16:00]



program

18:00～19:00

### 第1部

ファシリテーター：小田 竜也 先生 関東次世代がんプロ総括コーディネーター / 消化器外科 教授

▶ **がんプロデータサイエンス・レクチャー「医療ビッグデータ解析の実際」**  
総論と展望：リアルワールドデータで何ができるのか？

岩上 将夫 先生 筑波大学医学医療系 社会医学グループ デジタルヘルス分野 教授

▶ **具体的な構築と活用事例：筑波大学附属病院リアルワールドデータを用いた研究戦略**

島田 憲佑 先生 筑波大学医学医療系 臨床研究地域イノベーション学 特任講師

▶ **進行中の研究紹介：筑波大学附属病院リアルワールドデータ研究の実例**  
：周術期小児患者の皮膚傷害の実態とリスク因子の検討

池田 光輝 先生 筑波大学医学医療系 公衆衛生学修士学位プログラム・医学博士学位プログラム

19:00～19:30

### 第2部 Q&A & 模擬相談会

ファシリテーター：古田 智章 先生 筑波大学医学医療系 医学医療系消化器外科

**模擬課題案 10 本程度 (10 本ノック) をもとに、研究デザインと発想法をディスカッション**

(※個別相談をご希望の方には、当日または後日、調整のうえ、ワークショップのご案内をします)

今後の展開

本セミナー終了後、個別に研究課題相談を受け付けます。  
社会医学系研究室と連携し、1～2年をかけて研究アイデアを“論文”という形に仕上げていく。ワークショップ型支援プログラムとして伴走します。

主催：筑波大学 次世代のがん専門医療人養成プラン (がんプロ)

協力：ヘルスサービスリサーチ分野 / 医療情報部

問合せ：がんプロ事務局 小田 (陽) 内線 7316 ganpro-jimukyoku@un.tsukuba.ac.jp